

令和6年度（令和5年度施策・事業対象）

## 二宮町教育委員会点検及び評価報告書

令和6年（2024年）10月

二宮町教育委員会

# 目次

はじめに…………… 1

第1章 総論…………… 3

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価…………… 6

■各施策及び評価担当課一覧

※教育指導課（令和5年度は教育総務課指導班）

<b>大綱・基本方針 1 豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます</b>			
<b>基本的な方向性 ① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成</b>			
(1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進	教育指導課		6
<b>基本的な方向性 ② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進</b>			
(1) 小中一貫教育の推進	教育指導課		8
(2) コミュニティ・スクール運営の促進	教育指導課		10
<b>基本的な方向性 ③ 学校教育に関する情報発信の強化</b>			
(1) 情報発信の強化	教育総務課		11
<b>大綱・基本方針 2 未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます</b>			
<b>基本的な方向性 ① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備</b>			
(1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実	教育指導課		12
(2) 教職員の働き方改革の推進	教育総務課		14
(3) 教職員の指導力の向上	教育指導課		16
(4) 安心して学べる学校施設の整備	教育総務課		18
<b>基本的な方向性 ② 安全・安心な学校づくりの推進</b>			
(1) 健康・安全教育の充実	教育総務課		19
	教育指導課		
<b>基本的な方向性 ③ 将来に向けた特色ある学校づくりの推進（再掲 1-②）</b>			
<b>大綱・基本方針 3 町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます</b>			
<b>基本的な方向性 ① 生涯学習の振興</b>			
(1) 社会教育事業の推進	生涯学習課		20
(2) 図書館事業の推進	生涯学習課		21
(3) 二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供	生涯学習課		23
<b>基本的な方向性 ② 社会教育施設の管理運営</b>			
(1) 各施設の適切な維持管理と運営	生涯学習課		25
<b>基本的な方向性 ③ 社会教育に関する情報発信の強化</b>			
(1) 情報発信の強化	生涯学習課		26

第3章 外部評価意見…………… 27

参考資料…………… 33

# はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成したものです。

## 1 点検及び評価の趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

## 2 点検及び評価の対象施策・事業

町の教育の総合的な指針である「二宮町教育大綱」に基づき、該当年度に取り組むべき施策及び主な事業を各年度の「二宮町教育委員会基本方針」に位置づけ取り組みを進めています。また、基本方針では、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI（重要目標達成指標）を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI（重要業績評価指標）を設定し、KGI と KPI の相関関係を意識しながら施策を推進しています。なお、指標の設定については、可能な限り成果指標（アウトカム）を前提とし、全国学力・学習状況調査や学校評価など、毎年度数値が図れるものを取り入れています。また、一部の関連施策については、横断的な連携やその効果を意識できるように、同じ指標を設定しているものもあります。

令和 5 年度施策・事業の点検・評価においては、令和 5 年度二宮町教育委員会基本方針に位置づけた施策及び事業を対象にし、KGI 及び KPI の進捗などを踏まえ評価を行っています。

## 3 点検及び評価の方法

- (1) 教育委員会による点検及び評価  
対象となる施策・事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。
- (2) 外部による点検及び評価についての意見  
外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

## 4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します

**施策評価シートの見方**

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	評価者	教育指導課
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とし、学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。		

二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策名と施策内容が記載されています。

二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策に紐づけている予算等事業名が記載されています。（そのうち、重点事業には下線を引いています）

主な関連事業	1	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明
		言語活動の充実【重点事業】			
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	-	②想定レベル	ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。
	3	英語教育推進事業【重点事業】	-	②想定レベル	英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。
	4	道徳教育・特別活動の充実	-	②想定レベル	9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。

各事業の重要業績評価指標（KPI）の達成に当たっての有効度合を下記の3段階で評価しています。（説明にはその理由を記載しています）  
①限定的  
②想定レベル  
③想定以上

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
		中学校		75.3%					
指標の見直し	全国学力学習状況調査から町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】								

指標の達成状況を記載しています。（上段は計画値及び目標値、下段は実績値）  
達成状況を下記の4つの区分で評価しています。  
A 達成（100%以上）  
B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）  
D 未達成（50%未満）

重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	週3回以上、授業でICT機器を使用する割合							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%				70.0%	A
		中学校	85.1%	85.1%				95.0%	
	実績	小学校		78.4%					
		中学校		95.0%					
指標の見直し	-								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。</li> <li>・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。</li> <li>・英語の授業の楽しさと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。</li> <li>・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。</li> <li>・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学で外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。</li> <li>・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後備方針を定める。</li> <li>・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行った環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。</li> </ul>
総合評価		B

上記の分析結果を踏まえ、施策の取り組みについて、「成果」「今後の課題」「改善点及び今後の方向性」を評価しています。

評価結果を踏まえ、施策の総合評価を下記の4つの区分で評価しています。  
A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。  
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。  
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。  
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。  
B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。  
C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。  
D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

# 第1章 総論

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は2.3の上昇、中学校は2.2の減少となっています。中学校の数値は上昇していませんが、事業全体の取組状況等を踏まえ、令和5年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

評価対象14施策のうち、総合評価「A評価（大いに成果が得られた）」は2事業、「B評価（おおむね適正に取り組んでいる）」は11事業、「C評価（改善する必要がある）」は1事業、「D評価（事業の再検討が必要である）」は0事業という結果となりました。

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。

令和5年度の教育大綱及び教育委員会基本方針の見直しでは、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標としてKGIを、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標としてKPIを設定し、全体を俯瞰して捉えられるシステムに変更しました。新たな評価システムのもと、施策の進捗を数値化し具体的な分析をできるようになった一方で、分析結果をより効果的に次のアクションへつなげられていないという課題が浮き彫りとなりました。

今後は、施策の推進をより実行性のあるものとするため、具体的な取組の表記に努め、取組を内外へ分かりやすく共有するとともに、ステークホルダー（利害関係者）との協働を意識しながら施策の推進を図ります。また、将来の不確実性が高まる中で、時代の変化や影響を的確に捉えていくため、指標は柔軟な視点で定期的に見直し、教育委員会基本方針と点検評価を連動させながら、着実に施策を進めていきます。

今後も、子ども達がこれからの時代を生きるために必要な資質・能力を育み、子どもから大人までのすべての人が「共に学び共に育つ教育」を実現できるよう、点検評価における外部評価等も踏まえながら、より一層の施策の推進を図ってまいります。

## OKGI（重要目標達成指標）の進捗状況

### 学校教育・社会教育

項目	基準値	実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持っている児童生徒（肯定的な回答の割合） 【全国学力・学習状況調査】	小学校 76.9%	小学校 82.3%	2.3増↑	小学校 85.0%
	中学校 69.6%	中学校 67.4%	2.2減↓	中学校 75.0%
	（令和4年度実績値）	（令和5年度実績値）		

○二宮町教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び4名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（令和5年3月31日現在）

職名	委員名	任期
教育長	もり 英夫 <small>ひでお</small>	平成30年12月26日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日（再任）
教育長 職務代理者	おかの 敏彦 <small>としひこ</small>	平成28年10月1日～令和2年9月30日 令和2年10月1日～令和6年9月30日（再任）
委員	ふじわら 直彦 <small>なおひこ</small>	令和3年12月23日～令和7年12月22日
委員	すぎもと かおり <small>り</small>	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	ふるしやう 栄司 <small>えいじ</small>	令和5年10月1日～令和9年9月30日

○令和5年度の教育委員会の活動状況

令和5年度については、定例会・臨時会の教育委員会議での審議に当たり、各教育委員が幅広い立場から意見交換を行い、議論を深めました。また、学校訪問や教職員との意見交換等を行い、学校現場の把握と理解に努めました。

事業名等	内容	備考
定例会・臨時会	開催回数12回（定例会12回、臨時会0回） 議案件数71件（付議事項37件、報告・協議事項34件） 傍聴23名	
学校訪問	二宮小学校（令和5年9月29日） 一色小学校（令和5年10月26日） 山西小学校（令和5年11月6日） 二宮中学校（令和5年11月22日） 二宮西中学校（令和5年6月30日）	
教育委員会関係行事	・教職員等辞令交付式（令和5年4月3日） ・教職員等転退職者辞令交付式（令和6年3月29日） ・各種研修	
総合教育会議	開催回数3回 第1回 令和5年5月22日（書面開催） ・総合教育会議のテーマ設定について	

	<p>第2回 令和5年8月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育について</li> <li>・不登校対策について</li> <li>・ICT教育の推進について</li> </ul> <p>第3回 令和6年1月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域移行について</li> <li>・今後の生涯学習センターのあり方について</li> </ul>	
--	--	--

## 第2章 教育委員会における主要事業 点検評価

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進		評価者	教育指導課				
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明				
	1	言語活動の充実【重点事業】	-	②想定レベル 学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。				
	2	情報活用能力の育成【重点事業】	-	②想定レベル ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。				
	3	英語教育推進事業【重点事業】	-	②想定レベル 英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。				
	4	道徳教育・特別活動の充実	-	②想定レベル 9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。				
	5	読書機会の充実	-	②想定レベル 中学校では、朝読書を推進することができた。				
	6	学校体育の充実	-	②想定レベル 小中学校の先生で、運動の習慣づくりを行うために計画を立てて実施した。				
重要業績評価指標(KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値(R9)	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%			85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%			90.0%	
	実績	小学校		87.0%				
中学校			75.3%					
指標の見直し	全国学力学習状況調査から町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】							
重要業績評価指標(KPI) ②	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値(R9)	R5達成状況
	計画	小学校	65.6%	65.6%			70.0%	B
		中学校	83.5%	83.5%			90.0%	
	実績	小学校		72.2%				
中学校			78.0%					
指標の見直し	全国学力学習状況調査から町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標(KPI) ③	指標名	週3回以上、授業でICT機器を使用する割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値(R9)	R5達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%			70.0%	A
		中学校	85.1%	85.1%			95.0%	
	実績	小学校		78.4%				
中学校			95.0%					
指標の見直し	-							

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	92.3%	92.3%				95.0%	A
		中学校	96.9%	96.9%				98.0%	
	実績	小学校		97.2%					
中学校			95.5%						
指標の見直し	—								

  

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	中学3年生の英検3級取得率							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	中学校	42.6%	42.6%				50.0%	C
		実績	中学校		17.7%				
	指標の見直し		中学3年生のCEFR A1レベル（英語検定3級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合【英語教育実施状況調査】に指標を変更する。						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。</li> <li>・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。</li> <li>・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。</li> <li>・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。</li> <li>・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学での海外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。</li> <li>・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後の整備方針を定める。</li> <li>・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり、ICT環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。</li> </ul>
総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進	評価者	教育指導課																									
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による9年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。																											
主な関連事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算等事業名</th> <th>&lt;参考&gt;行政評価結果</th> <th>KPI達成への有効性(3段階評価)</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】</td> <td>—</td> <td>②想定レベル</td> <td>小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した教科指導を行えるようになった。</td> </tr> <tr> <td>2 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施</td> <td>—</td> <td>②想定レベル</td> <td>5校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。</td> </tr> <tr> <td>3 施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】</td> <td>—</td> <td>②想定レベル</td> <td>研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。</td> </tr> <tr> <td>4 郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】</td> <td>—</td> <td>②想定レベル</td> <td>総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。</td> </tr> <tr> <td>5 小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進</td> <td>—</td> <td>②想定レベル</td> <td>各校や役場のHPを通じてにのみや学園の取り組みを発信することができた。</td> </tr> </tbody> </table>	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明	1 小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】	—	②想定レベル	小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した教科指導を行えるようになった。	2 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	—	②想定レベル	5校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。	3 施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】	—	②想定レベル	研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。	4 郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】	—	②想定レベル	総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。	5 小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	—	②想定レベル	各校や役場のHPを通じてにのみや学園の取り組みを発信することができた。			
	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明																								
	1 小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】	—	②想定レベル	小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した教科指導を行えるようになった。																								
	2 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	—	②想定レベル	5校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。																								
	3 施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】	—	②想定レベル	研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。																								
4 郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】	—	②想定レベル	総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。																									
5 小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	—	②想定レベル	各校や役場のHPを通じてにのみや学園の取り組みを発信することができた。																									
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）																										
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況																				
	計画	小学校	77.4%	77.4%			80.0%	B																				
		中学校	84.0%	84.0%			85.0%																					
	実績	小学校		81.9%																								
中学校			74.2%																									
指標の見直し	全国学力学習状況調査から町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】																											
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）																										
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況																				
	計画	小学校	53.8%	53.8%			60.0%	A																				
		中学校	60.3%	60.3%			70.0%																					
	実績	小学校		62.5%																								
中学校			60.7%																									
指標の見直し	—																											

重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名		算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
中学校			49.4%						
指標の見直し		-							
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	49.2%	49.2%				55.0%	A
		中学校	46.4%	46.4%				50.0%	
	実績	小学校		74.5%					
中学校			62.4%						
指標の見直し		-							
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名		小中一貫教育の認知度						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画		37.6%	37.6%				50.0%	B
	中間		42.0%						
指標の見直し		-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にのみや学園が開校し、にのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。</li> <li>・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など二宮町をテーマにした学習に一貫して取り組むことができた。</li> <li>・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組を周知することができた。</li> <li>・社会科副読本をデジタル化し、全学年で活用できるようにした。郷土学習にも資するツールにもなった。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年、内容等を研究する。</li> <li>・にのみや学園の取組みが地域に十分伝わっていない。</li> <li>・教室での学びを日常生活や地域と関連付けることは深い学びへ導くために必要な手立てとなる。地域とのかかわりを大事にした教育活動を充実させるために、地域学校協働活動推進員と教員との連携を強化することが課題である。</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や町民も参加する教育講演会で、にのみや学園の取組みを報告する。</li> <li>・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。また、学校へ行く週間も積極的に周知する。</li> <li>・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向けた流れや事業の進め方と次のアクションを具現化する。</li> <li>・学校運営協議会長等情報交換会にて、地域学校協働活動推進員と教員との連携について話題にして、好事例を共有する。</li> </ul>
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1 - ② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	--------------------------

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進		評価者	教育指導課				
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。							
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明				
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援【重点事業】	-	②想定レベル 情報交換や課題の共有を行うことで、各学校の運営協議会同士で連携を図ることができた。				
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進	-	②想定レベル 地域の人材が学校の教育活動に参加することで教育活動の充実や地域の活性化につながった。				
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進	-	③限定的 学校運営協議会の活動を通し、コミュニティ・スクールの周知を行っているが、認知について高くないため引き続き周知を行っていく必要がある。				
重要業績評価指標(KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%			40.0%	評価不可
		中学校	21.1%	21.1%			30.0%	
	実績	小学校		-				
中学校			-					
指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「地域の行事に積極的に参加している児童生徒（肯定的な回答の割合）【学校評価アンケート】」に指標を変更する。							
重要業績評価指標(KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	21.4%	21.4%				30.0%	B
	実績		22.9%					
指標の見直し	-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。</li> <li>夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく3校合同で開催を行うことができた。</li> <li>令和5年度より各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議毎に活動内容や課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めて行く必要がある。</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	にのみや学園の学校運営協議会として向かうための活動内容や課題の共有および地域に対してのコミュニティスクールの周知活動を引き続き行っていく。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	1-③ 学校教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化		評価者	教育総務課				
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)		説明		
	1	学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	-	②想定レベル		様々な媒体を活用し、情報発信ができた。		
重要業績評価指標(KPI)①	指標名	学校ホームページアクセス回数（5校合計の月平均）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値(R9)	R5達成状況
	計画	23,000回	23,000回				25,500回	C
	実績		10,000回					
指標の見直し	コロナの影響を受けている年度の基準値と実績との乖離を踏まえ、コロナの影響が落ち着いた年度の数値を基準値とする。【基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標(KPI)②	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（5校平均値）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値(R9)	R5達成状況
	計画	88.7%	88.7%				95.0%	B
	実績		88.5%					
指標の見直し	-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	令和2年4月より学校ホームページを開設し、令和3年度は平均23,000回のアクセス数があった。令和4年度は約11,000回、令和5年度は約10,000回と一定のアクセス数はあるものの、アクセス回数は下降してきている現状である。
	今後の課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるような工夫をしていながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。
	改善点及び今後の方向性	コロナの影響を大きく受けアクセス回数が多かった令和2年度・3年度ではなく、比較的落ち着いた令和4年度のアクセス回数を基準値とし、継続して取り組んでいく。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実		評価者	教育指導課					
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	教育相談体制（就学相談含む）の充実【重点事業】	-	②想定レベル	SC,SSWの適正配置し、早期発見・早期対応できる体制を整えることができた。				
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】	-	②想定レベル	支援教育補助員の増員、まなびの教室の新設など共に学が仕組みを整えた。				
	3	幼保小連携推進事業	-	②想定レベル	スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施することができた。				
	4	支援教育補助員の配置	-	②想定レベル	支援を必要とする児童生徒が増加している状況を踏まえて、3名増員した。				
	5	医療的ケア受入実施体制の確立	-	①想定以上	医療的ケア看護職員を配置して、安心して学べる環境を整備することができた。				
	6	中学校の制服の在り方の検討【重点事業】	-	②想定レベル	アンケートをもとに、今後の制服の方向性を計画立てることができた。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		誰にも相談していない児童生徒数						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	0人	0人				0人	B
		中学校	7人	7人				0人	
	実績	小学校		4人					
中学校			1人						
指標の見直し		-							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	60.0%	60.0%				70.0%	B
		中学校	65.5%	65.5%				70.0%	
	実績	小学校		64.2%					
中学校			61.8%						
指標の見直し		全国学力学習状況調査から町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名		新規不登校者数						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	5人	5人				5人	C
		中学校	15人	15人				15人	
	実績	小学校		19人					
中学校			25人						
指標の見直し		-							

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	不登校率							R5達成状況
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)		
	計画	小 低	0.9%	0.9%				0.9%	
		小 高	2.1%	2.1%				2.1%	
		中学校	6.2%	6.2%				6.2%	
	実績	小 低		2.0%					
小 高			3.4%						
中学校			8.8%						
指標の見直し	-								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCを増員するなど教育相談体制を強化することができた。</li> <li>・スクリーニング実施を通して、これまで以上にきめ細かく対応するための仕組みを整えた。</li> <li>・まなびの教室、校内教育支援センターの新設など「共に学ぶ、共に育つ」ためのシステムづくりを進めることができた。</li> <li>・教育支援室の柔軟な運営について改善を図ることができた。</li> <li>・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。</li> <li>・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。</li> <li>・幼保小の連携事業を工夫することで、異学年交流の充実を図ることができた。（5年生の参画）</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体で不登校児童生徒は増加し続けている。すべての子どもを対象とした予防的対応とケースに応じた個別対応を組み合わせた重層的支援を行う必要がある。</li> <li>・配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、子どもたちの学校生活を支える支援教育補助員の増員が不可欠である。</li> <li>・通級指導教室、校内教育支援センターの目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な学びの場を整える必要がある。</li> <li>・アンケートの実施回数が増えている。</li> <li>・心理検査依頼件数が増加し、現在の体制では対応が難しい。</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内教育支援センターを先行して設置した学校の不登校児童数の増加に歯止めがかかったことから、校内教育支援センターを全校に設置する。</li> <li>・心理検査を行うカウンセラーを確保する。</li> <li>・アンケートの負担軽減を図りながら実施する。</li> <li>・受容的かつ共感的な学級集団づくりを推進する。</li> <li>・カリキュラム研究等を通じた魅力ある授業づくりをすすめる。</li> <li>・関係機関との連携やICTの活用等を通じた不登校児童生徒との関係づくりを進める。</li> <li>・幼保小連携事業の内容の充実を図る。</li> </ul>
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進		評価者	教育総務課					
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明				
	1	働く場としての環境整備【重点事業】	-	②想定レベル	校務支援システムなどのICT環境、SCなどのサポート人材の充実など、職場環境の改善の一助となっている。				
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】	-	③限定的	将来に向けて、部活動における条件の整理を開始できた。				
	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】	-	②想定レベル	地域の方の協力を得て、地域教育力を活用した授業が行えている。				
重要業績評価指標(KPI) ①	指標名	教職員の時間外勤務の月の平均時間							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間				30.0時間	B
		中学校	58.4時間	58.4時間				30.0時間	
	実績	小学校		33.2時間					
中学校			60.5時間						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標(KPI) ②	指標名	教職員に占める高ストレス者の割合							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	13.2%	13.2%				10.0%	B	
	実績		10.3%						
指標の見直し	-								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを適正に配置し、早期対応を行うことができる環境整備を図った。（R5 SCを小学校に週1日常駐）</li> <li>・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を配置した。（R5 3名増員）</li> <li>・校務支援システム、勤怠管理システム等のICTを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。</li> <li>・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。</li> <li>・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。（R5 各中学校で計3部活で検証）</li> </ul>
-------------------------	----	---

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ unnecessary業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保 等）</li> <li>・ 保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがしづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、優先順位を見直す。</li> </ul>
	改善点 及び今後 の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き方改革は多岐に渡るため、改善できることから一つ一つ取り組む。また、学校の意見を反映できるよう、校長会や安全衛生推進連絡会などで教職員の意見を聴取するとともに、各校の好事例などを5校に共有し、好循環を生む仕組みを作る。</li> <li>・ 学校現場の現状を保護者や地域と共有できるよう、情報の見える化を図る。そのために、学校だよりやHP、広報紙などの媒体以外にも、会議での紹介等、様々な機会を活用して周知を図る。</li> </ul>
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上		評価者	教育指導課					
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明				
	1	「教職員授業力向上研究事業」の推進【重点事業】	-	②想定レベル	各校の状況に合った課題を設定し、授業や研修等を通じて力量形成を図ることができた。				
2	教育研究所における研修の充実		-	②想定レベル	子どもたちの居場所づくり等教育課題に合った研修内容を組むことができた。				
重要業績評価指標(KPI) ①	指標名		話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
中学校			75.3%						
指標の見直し		全国学力学習状況調査から町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標(KPI) ②	指標名		国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
中学校			60.7%						
指標の見直し		-							
重要業績評価指標(KPI) ③	指標名		算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
中学校			49.4%						
指標の見直し		-							
重要業績評価指標(KPI) ④	指標名		先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	86.7%	86.7%				90.0%	B
		中学校	92.7%	92.7%				95.0%	
	実績	小学校		91.5%					
中学校			91.0%						
指標の見直し		-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など町の教育施策に応じた研修を実施することができた。</li> <li>・児童生徒の発達を支持する教員の肯定的なかかわり方が組織的に行えていることが数値にも現れている。また、小学校では、高学年を中心に教科担任制を推進し、教科指導の充実を図るとともに、児童の多面的理解に努めている。「授業がわかりやすい」「先生に話しかけやすい」「いろんな先生がかかわってくれる」ことに肯定的に回答する児童の割合が高まった。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革と教職員研修の両立を図ること。</li> <li>・多岐に渡る教育課題から必要な課題を厳選すること。</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の教育施策にあった研修内容を今後も計画する。</li> <li>・教育講演会については、引き続き、町民や保護者にも周知し、町全体で教育課題について理解を深める機会とする。</li> <li>・担当者会の位置づけを明確にし、内容の充実を図ることで、担当者の資質・能力が学校運営や町に政策に反映できるように努める。同時に、教職員の資質・能力の向上や学校運営に積極的に参画する態度の育成につなげていく。</li> <li>・学び方の研究や教科研究を通じて、個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な実現を図る。</li> </ul>
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備		評価者	教育総務課				
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性（3段階評価）	説明				
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修【重点事業】	-	②想定レベル Dランク判定の個所を計画的に改修ができた。				
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和2年度）におけるDランク判定及び緊急対応箇所の改修割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	40.0%	40.0%				100.0%	A
	実績		66.7%					
指標の見直し	-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	Dランク判定21か所のうち14か所について、工事又は修繕が完了した。 また、教育環境の向上を図るため、令和5年度より、特別教室等空調機設置工事に着手し、令和6年度の夏季期間から空調機が稼働できるように工事を進めている。
	今後の課題	令和6年度以降についても、引き続きDランク判定の個所を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。
	改善点及び今後の方向性	特別教室等空調機設置工事は、国の交付金を活用できたため、町の財政負担軽減に繋がっている。 引き続きDランク判定を優先順位をつけて工事修繕をしていく。
	総合評価	A

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2-② 安全・安心な学校づくりの推進
-------	--------------------

施策評価

施策	(1)健康・安全教育の充実	評価者	教育総務課・教育指導課						
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明					
	1	安全対策、安全教育	-	②想定レベル	通学の合同点検の実施し、関係機関等による通学路の状況の共有や危険個所の把握を行い、対策等を図った。				
	2	幼保小中一斉引取り訓練	-	②想定レベル	関係機関の協力の下、今年度も予定通り実施することができた。				
	3	学校給食センターにおける取り組み【重点事業】	-	②想定レベル	学期に1回の地場産デーに合わせて栄養士による食育を実施することができた。				
重要業績評価指標(KPI) ①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所+合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	33箇所	33箇所				58箇所	A	
	実績		31箇所						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標(KPI) ②	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	94.3%	94.3%				96.0%	B
		中学校	91.2%	91.2%				93.0%	
	実績	小学校		93.7%					
		中学校		92.7%					
指標の見直し	-								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。</li> <li>・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施</li> <li>・学校給食において、地場産デーとして6月には二宮産のたまねぎを提供し、7月には無農薬野菜のなす、ズッキーニ、ピーマンを使用した「夏野菜カレー」を提供した。また、10月には二宮町で取れたサバを「サバの竜田揚げ」、2月に二宮産の原木しいたけを使用した「麻婆豆腐」をそれぞれ提供した。また、そこに至る過程で、提供者との綿密な交渉（相談）を重ねることにより、市場と同等の大きさ・品質・価格の地場素材の供給体制を構築することができた。</li> <li>・地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月には二宮小学校、10月には山西小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をつぶりと伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有</li> <li>・給食費の段階的な無償化の検討</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、通学路の安全点検を行い危険箇所等の把握に努め対策等を行っていく。</li> <li>・令和6年度より中学校の給食費無償化を開始する。</li> </ul>
	総合評価	A

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進				評価者	生涯学習課		
施策内容	家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。 また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。 これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題についても研修会等を開催し、人権意識を育みます。							
主な関連事業	予算等事業名	<参考>行政評価結果	KPI達成への有効性(3段階評価)	説明				
	1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進【重点事業】	-	②想定レベル	地域学校協働活動推進員を中心に、地域と連携した特色ある活動がなされた。			
	2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援	-	②想定レベル	町民大学講座の実施や、地域における学びの充実が進んだ。			
	3	青少年の健全育成【重点事業】	-	②想定レベル	青少年指導員等と連携し、各種事業を実施した。			
	4	人権教育の推進	-	②想定レベル	インターネット空間における人権について考える研修会を実施した。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%			40.0%	評価不可
		中学校	21.1%	21.1%			30.0%	
	実績	小学校		-				
中学校			-					
指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「放課後子ども教室の登録率（登録数/児童数合計）及び参加した児童の延べ人数」に指標を変更する。							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	21.4%	21.4%				30.0%	B
	実績		22.9%					
	指標の見直し	-						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めており、放課後子ども教室についてはR4と比較し、参加率が36.4%から41.9%へ上昇している。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員会合同による事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みを実施し、各団体の強みを生かした連携が図られた。 ・町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、多世代の交流の場となるような講座を開催したことで、R5は参加者同士での継続学習につながった講座もあり、生涯学習の推進が図られている。
	今後の課題	地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携、情報提供を継続して行う必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・関係者や関係団体との協力や連携、情報提供を継続して行うとともに、社会情勢や町民ニーズを踏まえた取り組みを進める。 ・施策の進捗をより詳しく計測するため、重要業績評価指標（KPI）に、①にのみや町民大学の申込状況（申込者数/定員数）を加える。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(2)図書館事業の推進		評価者	生涯学習課					
施策内容	<p>赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。</p> <p>特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しみきっかけを作り、図書館利用を促進します。</p>								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	幅広い世代の利用促進【重点事業】	-	②想定レベル	子どもや子育て世代向けの事業を行い、利用促進に努めた。新たに夏休み期間の「放課後子ども教室」で図書館ツアー等を実施し、子どもが図書館に親しみきっかけ作りに取り組んだ。各年齢層を対象として資料展示やSNS等での資料紹介を行った。様々なテーマで行う資料展示は利用者に好評である。				
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	-	③限定的	定期的な受入と除籍により、資料の鮮度維持に努めたが、入館者数の増には繋がれなかった。				
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	-	③限定的	行政資料や、「二宮ゆかりの人物」に関する資料の収集を行い、図書館だより等でのゆかりの人物紹介を行ったが、直接入館者数の増に寄与できなかったと言えない。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名 図書館年間入館者数								
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画		174,944人	174,944人				175,000人	B
	実績		138,123人						
指標の見直し		-							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名 読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）								
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	70.2%	70.2%				75.0%	A
		中学校	63.9%	63.9%				70.0%	
	実績	小学校		72.8%					
		中学校		65.7%					
指標の見直し		-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

<b>施策の取り組み</b> 【うち、下線部は重点事業の評価】	<b>成果</b>	<u>子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努めた。新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。</u>
	<b>今後の課題</b>	<u>幅広い年齢層の図書館利用促進に継続して取り組む必要があるが、小学校高学年や、成人を対象とした講座や講演会を実施することができなかった。</u>
	<b>改善点及び今後の方向性</b>	<u>既存事業の対象年齢層とは異なる年齢層を対象とした事業を開催するなど、日常的に図書館を利用しない町民や、様々な世代が利用するきっかけ作りに取り組む。</u>
	<b>総合評価</b>	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供		評価者	生涯学習課					
施策内容	<p>各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援するとともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。</p> <p>また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。</p>								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)			説明		
	1	文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】	-	②想定レベル			文化団体やスポーツ協会と連携し、各種イベントを実施することで、文化や芸術スポーツに触れる機会に繋がられた。		
	2	歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】	-	②想定レベル			民俗芸能のつどいを開催するとともに、文化財に関する展示を行うことで、文化財保護意識の啓発に繋がった		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	文化祭来場者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	4,273人	4,273人				4,500人	B	
	実績		4,226人						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	80組	80組				80組	B	
	実績		74組						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	405人	405人				500人	A	
	実績		590人						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	小学校	52.4%	52.4%				55.0%	B
		中学校	34.0%	34.0%				35.0%	
	実績	小学校		48.3%					
中学校			23.6%						
指標の見直し	-								
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール、温水プール）の個人入場者数および利用登録団体数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	210,757人 4,894団体	210,757人 4,894団体				210,000人 4,800団体	評価不可	
	実績		140,512人 5,005団体						
指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭やピアノマラソンコンサートの開催、スポーツフェスティバルへの協力などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努め、多くの町民の参加や来場に繋がった。</li> <li>・民俗芸能のつどいの開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組むことで、町民の歴史・文化に対する理解に繋がった。</li> </ul>
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。</li> </ul>
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体と連携、協働、支援や、活動の場となる施設の適切な管理運営に継続して取り組む。</li> <li>・重要業績評価指標（KPI）⑤について、温水プール廃止に伴い、指標を変更する。</li> </ul>
総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-② 社会教育施設の管理運営
-------	-----------------

施策評価

施策	(1)各施設の適切な維持管理と運営		評価者	生涯学習課				
施策内容	<p>長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センターラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。</p> <p>また、生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。</p>							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	安全安心な環境整備と適切な施設運営【重点事業】	-	②想定レベル		不具合箇所の修繕を適時に行うなど、安全安心な環境整備に努めた。		
2	生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向けた検討	-	②想定レベル		大規模改修の基本設計を進めた。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度D判定評価の対応状況（対応済み数／D判定評価数）」						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	0 / 4	0 / 4				4 / 4	B
	実績		0 / 4					
指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだことで、利用者の利便性が保たれた。</li> <li>・D判定4か所のうち、1か所（屋根・屋上）が該当する生涯学習センターラディアンは、施設再編課とともに基本設計を進め、リニューアル工事に向けたコンセプトをまとめることができた。</li> <li>・D判定4か所のうち、3か所（内部仕上げ、電気設備、機械設備）が該当する町民温水プールは、令和5年度末をもって廃止した。</li> </ul>
	今後の課題	・安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合箇所の早期発見と対処を行い、安全安心な環境整備に取り組む。</li> <li>・生涯学習センターラディアン及び図書館の改修については、工事に向け実施設計を着実に進める。</li> </ul>
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3-③ 社会教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化		評価者	生涯学習課				
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用	-	③限定的		ホームページやFacebookを活用し、時機を得た情報発信に努めたが、新聞等のメディア掲載には繋がらなかった。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	14件	14件				20件	C
	実績		8件					
指標の見直し	-							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、地元情報誌に8回掲載された。また、年度末までに町Facebookに34件投稿した。
	今後の課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	記者発表なども活用しながら、積極的な情報発信に継続して取り組む。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

## 第3章 外部評価意見

評価委員 吉田 賢治

評価内容

### 第2章 教育委員会における主要事業について

#### 1 豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます

##### ①—(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進

- 1 言語活動の充実においては、KPI を見ると小学校では、①②ともに増加しているが中学校では減少しています。要因は多様であり、地域や学校区の特性も関係していると思われるが、今後の方向性を模索しつつ、小中一貫教育「にのみや学園」としての分析と対応が必要と考えます。
- 2 情報活用能力に育成においては、③④ともにほぼ目標達成しております。児童生徒の ICT に対する興味関心の深さと、施設設備の充実や教職員による工夫改善の成果だと思えます。今後の増々の充実に期待します。
- 3 英語教育推進事業においては、⑤について、英検 3 級取得率は昨年度減少しましたが今年度も減少しています。英語の授業が楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均よりも高い中で、達成状況は C 評価を受けています。その背景を調査、分析して今後の受験者数の増加や英語能力のレベルアップに期待します。小学校の英語教科採用にともない小中学校の連携が重要であり、9 年間を見通した取り組みに期待します。
- 6 「知育、徳育、体育」最近では「食育」の授業が見直されていますが、体育分野の充実をお願いします。令和 6 年 2 月定例会議事録の資料 2 全国体力、運動能力、運動習慣等調査まとめでは、「運動が好き」や「卒業後も運動したい」と肯定的な回答が全国の結果を上回っています。専門教員の採用や適正配置を実践して、児童生徒のスポーツ好きを増やしたり、体育嫌いを減らしたりするなど、生涯を通じて運動に親しむ習慣を育てることが大切であり、学校体育は生涯体育につなげる重要な役割を担っていると思えます。町内スポーツイベントの縮小や廃止は今のスポーツ行政のあり方が問われています。今後を見据えた「にのみや学園」の楽しく、活発かつ積極的に参加できる学校体育に期待します。

##### ②—(1)小中一貫校教育の推進

- 1 小中一貫教育カリキュラムの研究の推進においては、KPI を見ると①では小学生で増加、中学生で減少、②では小学生が増加、中学生は横ばい状態であり、小学生は学校へ行くのが楽しく、授業も好きであるが、中学生は学校へ行く楽しみが減っていて気になるところである。年齢や地域、学校区の特性も考えられるが、調査分析して頂き「にのみや学園」の発展を期待します。
- 4 郷土理解の推進による郷土愛の育成においては、④の A 評価を高く評価します。総合的な学習の時間のみならず、社会科副読本のデジタル化による全学年が活用して学習することで、自然豊かな二宮の郷土を大切にすると、防災意識を高め、自助・共助の出来る児童生徒の育成に期待します。

## ②—(2)コミュニティ・スクール運営の促進

- 1 学校運営協議会の円滑な運営のための支援においては、今までは学校単位で行っていたが、今後は合同開催していくことで地域や学校区の特性に配慮しつつ相互理解を深め、工夫改善を図っていただきたい。また人材の育成や確保、人件費の予算化や備品用具の整備充実など、長期的な視点で運営することを期待します。

## 2 未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます

### ①—(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実

- 1 教育相談(就学相談含む)の充実においては、③④とも増加傾向にあり児童生徒が抱える多種多様な問題について、教職員、SC、SSW等の関係職員が連携強化に努め、早期発見、早期支援に努めて頂き、不登校やいじめ問題の未然に防ぐ取り組みに期待します。
- 6 中学校の制服の在り方検討においては、教育委員会議事録の令和5年6月5日報告協議事項(3)児童保護者へのアンケートを実施しました。集計結果を慎重に分析し検討頂いて、今後のアンケート内容の充実に努め、「にのみや学園制服の在り方検討会」で慎重審議頂き制服の決定をお願いします。

### ①—(2)教職員の働き方改革の推進

- 1 働く場としての環境整備においては、KPI①を見ると中学校では達成状況を大幅に上回り且つ増加している。「学校の働き方改革に関する基本方針」を踏まえ、勤務実態の把握や勤務時間の改善に努め「生きがい、やりがい」のある環境づくりに努めて頂きたいと思えます。
- 2 部活動の地域移行に向けた検証においては、令和5年第3回二宮町総合教育会議3 協議調整事項(1)部活動の地域移行についての活動アンケートまとめの中で、「教員が土日の業務から離れ休む時間が確保できた」や「日頃の業務を見直すきっかけになった」と答え、参加した生徒からは技術の高い指導を丁寧に受けて満足したと、答えています。地域移行に向けては競技種目により大きなバラツキがあり多くの問題を抱えているが、行政、教師、生徒、保護者が情報を共有して実態に即した柔軟な取り組みに期待します。

### ②—(1)健康・安心教育の充実

- 3 学校給食センターにおける取り組みにおいては、KPI②について町全体が食育に対する意識が高いことが伺えます。今後も学校給食の場を活用して地産地消の食文化と、食育の重要性を児童生徒に継承して頂きたい。

## 3 町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます

### ①—(1)社会教育事業の推進

- 1 コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進においては、今まで各学校単位で活動していた協議会が、令和5年より「にのみや学園」として今後の8年間を見通した学校運営協議会を運営するにあたり、従来5校で実施して来た活動内容を共有して工夫改善を図り、児童生徒の交流の場を引き続き発展させて頂きたい。

### ①—(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供

- 1 文化芸術及びスポーツの振興・支援においては、KPI④小学生、中学生共に減少している

が、特に中学生は顕著である。要因は年齢的なものを含め多種多様と考えられるが、⑤も含めてコロナ禍を境に文化芸術・スポーツ参加者は減少、特にスポーツイベントの参加者は減少している。各イベントの中止や廃止も大きな要因だと思います。各種イベントの開催や継続は町や地域の活性化に大切な行事だと思います。児童生徒も含め、楽しく興味深いイベントが開催されることを期待します。

②—(1)各施設の適切な維持管理と運営

- 1 安心安全な環境整備と適切な施設運営においては、温水プールが廃止になり目標値を変更しましたが、長寿命化計画に基づき利用者の安全確保に引き続き取り組んで頂きたい。

今年度の二宮町教育委員会点検及び評価は、二宮町教育大綱に基づいて取り組むべき施策及び主な事業 14 を二宮町教育委員会基本方針に位置づけ評価対象としています。

○指標 KGI、KPI を設定して数値化しているので具体的にわかりやすい評価方法になっている点を評価します。次年度への取り組みにつながりやすいと思います。

○新しい評価方法ですから、初めて見る教育委員会外部の人にもわかりやすいような説明を加えるといいと思います。

○評価対象は 14 の施策になっていますが、現実の教育活動の中で 14 の施策に入らない内容もあることをふまえ、教育委員会におかれましては、常に教育活動の全体を見る視点を持ち続けていただきたいと思います。

○第 2 章教育委員会における主要事業点検評価において「評価指標の見直し」が多くの項目で見られるのは、この評価法を設定して初年度の令和 5 年度で気づいた事項と思われるので、早急に見直しをいただき、令和 9 年度の達成目標値に向けて令和 6 年度以降、取り組みやすくしていただきたいと思います。

#### 第 1 章について

・おおむね順調である、という評価です。

「将来に夢や希望を持っている児童生徒」が小学校で増加、中学校で減少です。特に中学校での減少はその理由を解明し、解決していくようにしていただきたいと思います。そのように「二宮町教育委員会点検及び評価」を実効性のあるものにしていくとよいと思います。

・14 施策のうち B 評価（達成値 99%～70%）が 11 事業です。その事業の内訳が児童生徒の学習活動、学校活動に関わる施策が多く入っていますので、事業によっては評価指標の見直しをすることになっていますが、よい数値を出すための活動にならないよう、児童生徒の成長のためになるような、また実際の教育活動の場面での取り組みが現れるような見直しを進めていただきたいと思います。

・教育委員会の活動については、学校訪問は、実際の教育活動や教職員、児童・生徒に接する事ができる貴重な機会だと思います。継続していただきたいと思います。

・教育委員会の活動で、総合教育会議についてですが、実際に機能するように、特に小中一貫教育、不登校対策、ICT 教育、部活動、学校教育や社会教育の情報発信については二宮町全体で考える必要のある内容として取り組んでいただきたいと思います。「二宮町の教育の特色」を打ち出せる場ではないかと考えます。

#### 第 2 章について

基本方向性 1 - ① (1) 学習のための大切な施策と考えますので、基準値より下回った施策については検討してその理由を明らかにして次年度につなげてほしい。「B」評価と安心するのではなく、B 評価は 70%以上～99%の達成値なので幅が広いので KPI の「実績」数値を目安にして具体的に検討していただきたい。指標の見直しの結果指標が変わるのは来年度なので、今年度は令和 5 年度の振り返りが大事だと思います。

基本方向性1-②(1) 学校の枠組みを作る施策なので、達成状況「A」については良かった面の確認を、「B」については、特に「学校に行くのが楽しいかどうか」については中学校において振り返りが大事と思います。原因を掴み問題を解決してほしいと思います。

基本方向性1-②(2) 次の1-③(1)と共に「B」なのは地域との関係もあり、現状では情報発信の限界もあると思います。今後は情報発信の新しい工夫と、同時に今までの取り組みの継続を必要とする分野と思います。地域と共にある学校づくりを目指していただきたいが、それは学校・教育委員会・二宮町から地域への働きかけが必要です。

基本方向性2-①(1) 指標4つのうち令和5年度の達成状況は「B」「B」「C」「C」であり、総合評価は「B」ですが、早急に取り組まなくてはならない事業と思います。SC、SSWの適正配置、支援教育補助員、医療的ケア看護職委員の配置と成果がありますが、課題も多く、「今後の課題」にあるように教職員全体の正しい理解を基に、教育環境の整備を進めてほしいと思います。支援を必要とする児童生徒は特殊な存在ではなく、誰もが支援を必要とする存在になる可能性があるからです。不登校は学校や教育委員会だけでなく二宮町の関係部署、地域との連携が必要と思います。

基本方向性2-①(2)・改善点及び今後の方向性にあるように、改善できることから一つ一つ取り組んでいくようお願いいたします。方向性が出ているので、特に現場の工夫によるところが大きいかと思います。

- ・時間外勤務の時間が多いほど高ストレスを感じているようです。

基本方向性2-①(3) 成果、今後の課題、改善点及び今後の方向性の通りと思います。研修を通して教職員の指導力が向上し、ひいては働き方改革につながるよう、取り組んでいただきたいと思います。

基本方向性2-①(4) 目標とする成果「A」が出ています。安心して学べる学校施設の整備を引き続きお願いいたします。

基本方向性2-②(1)・安全安心な学校は基本中の基本なので総合評価「A」でよかったと思います。

- ・登下校の通学路の現状は変化するので、定期的な現状把握をお願いいたします。

- ・「毎朝、朝食を食べている児童・生徒の割合」は100%ではないので、今6～7%だけれど、今後増えると思われる「毎朝朝食を食べられない子供たち」をどうするかについて教育委員会だけでなく二宮町で考えていく段階に入っていると思います。

- ・給食の取り組みに成果を出しています。

- ・改善点及び今後の方向性の、令和6年度からの中学校の給食費無償化開始は素晴らしいと思います。

基本方向性3-①(1) 社会教育事業は多方面に広がっているので、改善点及び今後の方向性にあるように関係者や関係団体との連携は必要です。学校に関するものについては教育委員会が先導する必要がある可能性について考えていただきたい。そうすれば施策内容が関係者に伝わりやすく理解されれば協働がスムーズになり成果につながりやすいと思います。

基本方向性3-①(2) 読書について工夫がされていて内容として読書好きな児童生徒が増えていることはよいことと思います。読書についての工夫の中では放課後子ども教室との連携がよいと思いました。また基本方向性1-①(1)にあるように中学校で朝読書を推進し読書の機会を充実させていることも読書についての工夫の一つだと思います。

基本方向性3-①(3) 二宮町には誇れる文化会館ラディアンがあるので、文化・芸術に特に若い人に多く触れてほしいと思います。スポーツ施設については老朽化、廃止が続いているので、これからの課題だと思います。

基本方向性3-②(1) 改善点及び今後の方向性にあるように環境整備を順調に進めてほしいと思います。

基本方向性3-③(1) 情報発信は、1-③(1)の学校教育に関する情報発信でも課題になっています。ホームページのアクセス数だけに頼らずに新しい発想や工夫が必要な分野と思います。教育委員会だけでなく二宮町全体の問題として取り組んでいく分野と思います。

評価を終えて

二宮町教育大綱（令和5年度～令和9年度）に基づき初年度の令和5年度に取り組まれた施策の評価が、次年度令和6年度にさらに実りのある教育活動になって生きることを期待しています。

## 参考資料

### ■地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

#### 第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### ■二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

公布 平成 26 年 7 月 25 日

改正 平成 27 年 3 月 27 日

（趣旨）

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

（点検及び評価の実施）

第2条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

（点検及び評価の対象）

第3条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

（評価委員）

第4条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。)を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は2名とし、教育に関して公正な意見を述べる事が期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

（評価委員の任期）

第5条 評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（点検及び評価の手順）

第6条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第3条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第7条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

#### 附 則

この規則は、公布の日から施行する。

## ■二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

公表 平成26年8月29日

(趣旨)

第1条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則(以下「実施規則」という。)に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第2条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第3条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第4条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第5条 実施規則第6条第3項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書(以下「点検及び評価報告書」という。)は、施策評価シート(別紙1)により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙 1

施策評価シート ( 年度実績)

基本方向性	
-------	--

施策評価

施策		評価者						
施策内容								
主な関連事業	予算等事業名	<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1							
	2							
	3							
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値 ( 年)	年達成状況
	計画							
	実績							
	指標の見直し	-						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値 ( 年)	年達成状況
	計画							
	実績							
	指標の見直し	-						
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値 ( 年)	年達成状況
	計画							
	実績							
	指標の見直し	-						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	
	今後の課題	
	改善点 及び今後の 方向性	
	総合評価	

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。